

## 最近よく聞く言葉 ジョーンズ・ホプキンス大学

新聞やテレビで毎日のように流れる新型コロナウイルス関連ニュースで、世界の感染者数の出典元おなっているのが世界最大の公衆衛生プログラムを持つ米国ジョーンズ・ホプキンス大学の集計です。

いくつかの情報をまとめると、この集計を始めたのは同大学システム科学・工学センターのローレン・ガードナー准教授（女性）と中国人大学院生です。元々は、米国 Esri 社製のアプリを利用して麻疹やジカウイルスの流行状況の全体像を把握する作業を行っていました。今年1月に中国で新型コロナウイルスの感染が拡大し始めたことから、工学や公衆衛生の専門家の協力を得て、集計プログラムを整備。情報をツイッターで発進したところ、瞬く間に全世界から注目を集めることになったようです。

同大学は米国メリーランド州ボルチモアに本部を置く名門の私立大学。クェーカー教徒の実業家ジョーンズ・ホプキンスの遺産を基に、1876年、世界初の研究大学院大学として設立されました。公衆衛生学の分野を大学院過程として設けた全米最初の大学でもあります。学生の多くが医学への道を目指しており、ドクター・ファクトリーの異名があるそうです。ノーベル賞受賞者も数多く出しています。

総合南東北病院広報誌「南東北第344号」より転載